

# 天竜の杉檜と生きる

〒431-3306  
静岡県浜松市天竜区  
船明 880 番地  
TEL:053-926-1232  
FAX:053-926-2879



## フジイチ山林部、出陣!

暑い夏も終わり、少しずつですが秋めいてきました。株式会社フジイチ山林部の出陣です!

「秋は仕入れの天王山 山主を廻れ」と。当社では、3人の木を見るプロが日夜、山主(天竜杉檜の所有者)を訪れて、製品需要、会社の方針を話していき、山の立ち木を売っていただけいかと方々にお伺いしております。

利益がまた還元して、次の山の世代へと継ぎ、そして木材は住宅へと利用されていきます。現在、天竜地区の材を中心に年間20000立方メートルの生産をしており、山林の業務に携わる人が26名、大型トラック3台、グラップル2台が活躍しています。

左上の写真が、この秋仕入れた山です。横山地区、龍山地区、熊地区を始め見てのとおり良材を仕入れていきます。今年度も皆様のニーズにお答え出来るよう多種多様な山を仕入れられます。ご安心くださいませ。

(フジイチ山林部)



## フジイチ 24時間テレビに協賛!

24時間テレビに広告を出してみました。前回の情報誌で広告のながれる日付、日時を知らせておきましたが見た方はいますか? 見逃した方、見てください!



宇宙空間の中の地球



地球がだんだん大きくなる



地球の中の日本に...



㈱フジイチは24時間テレビに協賛しています

GOOD DESIGN IS GOOD ARCHITECTURE

いい設計 ありがとうございます  
いい大工 いい素材

GOOD ARCHITECTURE IS GOOD LIFESTYLE

### ● 'Pigpen Cycles' ピグペンサイクルズ

アドバイザー 鈴木 典久さん  
木の家造り勉強会に参加、床、天井、壁すべてを杉板に改装。この秋、母屋も改装予定。趣味の懐古時計も杉壁面にマッチ! 伐採ツアーも参加してくれました。

■磐田市西貝塚 H18.10 完成 ■施工:山喜建築



### ● 伐採ツアーで自分の木に印をする大石さん

木の家造り勉強会に参加、伐採に立会い、自分の家に使う木に印をする大石さん勉強会に出会わなかったら木の家にたどり着けなかったと話す。理想だった杉板落とし込み工法で新築。壁、天井、床とすべてに杉厚板を使用。

■磐田市東進町 H19.2 完成 ■施工:大寶建設



走っている中で1チームが50m地点でのバトンをタッチ。何で?と思いきやこのリレーは全校児童で走る競技のために設定されたらしい。ここがまたユニークで面白い!まだ走るは走る。赤組の2チームが1位と2位、このままゴールまでと思いきやオーツ早エー! 抜くは抜くはで逆転。遂に1位に躍り出る。早かった。やはり上級生力強さを感じました。そして次々にバトンタッチされ、遂にゴール!  
全校児童53人の感動もんのリレーでした。1年生から6年生までどう組み合わせられているかは解からないが面白い企画だし低学年から高学年までの交流、助け合いを感じ素晴らしいかった。  
少子化の中、これからは益々少なくなる児童数。このリレーも今年が第1回。来年も再来年もこの感動を味わいたいと思うし、もっと大きな声で応援して行きたいと思う一日でした。  
(専務 鈴木敬雄)



## 天竜人語

TEN RYU JIN GO

やって来ましたスポーツの秋!  
去る9月23日に地区連合体育祭に参加して感動しました。  
小学生による紅白各2チームに分けてのリレーが最後の競技としてスタートしました。ピストルを合図に男女関係なく走り出す。小さく、かわいい子が一生懸命に走る姿がとても微笑ましい。  
バトン渡しにぎこちなさもあるが、いい光景だ。走るは走る。途中、アレッ!100m

見学・体験会  
ご案内しています

植林 製材 建築  
053-926-1232

大好評!  
フジイチの大切なお客様に。  
山と木と家を知るツアー

設立:1946年  
社員数:60名  
平均年齢:38.9歳  
業務本所:木材業製材業(立木の直接仕入)  
資本金:3000万円  
住所:浜松市天竜区船明880  
TEL:053-926-1232  
FAX:053-926-2879  
E-Mail:info@fujiiichi.co.jp  
URL:http://www.fujiiichi.co.jp

会社概要

## イベント案内

10月1日~31日  
平田くん、醍醐さん研修

今期ドラフトNO1候補!  
仕事の厳しさ、楽しさを体験して。

10月20日・12月1日  
伐採見学ツアー

いよいよ伐採最盛期。  
秋の一日を山ですごしませんか?

11月7日  
山の講

今期も無事故。無災害で。

12月15日・16日  
森のアウトレット

大好評!年に2回だけ!  
建築部材から家具、小物まで  
天竜材が格安で手に入るイベント!  
詳しい場所と時間はフジイチまで。



# 目指せ！スペシャリスト！ スーパー専門高校事業の2007年度指定校

# 山と杜と木を愛する\* フジイチ 下草刈りツアー

【平成19年9月1日(土)】

RePo



「えつ。もう終わりですか。物足りないな。」  
企画者の心配をよそに、みなさんの眩きが漏れた。秋風が吹き始めた2007年9月1日。下草刈りツアーが開催された。  
「遠州弁で言う『大変』」というイメージがあるので参加者は少なかった。その物好き？な人たちは、環境系NPO法人関係者、環境専門学校生、「さくら」を志す若者、プレカット会社社員、農林短大学生の5名だ。



山は車を降りてすぐ目の前。今日は、山主さんも来てくれて一緒に下草刈りをする事になった。御年74歳。とても山が好きなので、毎年どこかの持ち山で苗を植えている。



山で使う鎌は通常の草刈り鎌よりも大きく、初めての人には扱にくい。「育林のプロ」原田が使い方の指導をしてくれた。「鎌は引くことで切れるんです。ただぶん回しても危ないだけなので、周りに注意しながら作業してください。」

作業スタート。恐る恐る山に入り、鎌をふり始める。初めはへつぱり



山で使う鎌は通常の草刈り鎌よりも大きく、初めての人は扱にくい。「育林のプロ」原田が使い方の指導をしてくれた。「鎌は引くことで切れるんです。ただぶん回しても危ないだけなので、周りに注意しながら作業してください。」



本日作業する山は去年、90年生〜120年生の杉を皆伐し、今年の春に苗を植えた山だ。最近では鹿やカモシカに新芽を食べられてしまったり、皮を剥かれたりという被害が多く、せっかく植えても枯れてしまうこともある。

昼食後は「道の駅かあさんの店」でお買い物タイム。最初は店の中をブラブラし



下刈りもひと段落して待ちに待った昼食。山の中でおいしい空気を吸いながら食べる食事は最高です！山主さんを囲んで楽しいお話ができました。

自分たちがやった成果を見ると俄然やる気が出ます！山仕事の中で、苗山の草刈りというのは一番つらい仕事かもしれない。夏のキラキラした太陽をささげる木陰もなく、ただひたすら草を刈っている、一日に3割もの水分を摂る時だってある。しかし、これから何十年と木がすくすく育っていくためには欠かせない作業だ。

腰をやっていた人も、徐々に慣れてきてスムーズにできるようになる。「みなさん、後ろを振り返ってください。こんなにきれいな山が当てるようになって喜んでいいはずですよ。」



工場見学では、私達が慣れて感じなくなってしまう「木の香り」がすくすくしますね。いい匂いですね。」  
「木はいい匂いですが、あらためて初心に戻ってPR活動せねばと思いました。」  
今回の下草刈りツアーは、作業時間も短かったですし、何よりやる気満々の人達が集まりましたので物足りなかつたみたいです。ですから次回は朝から夕方までみっちりやってももうかな〜と密かに思っています。



みなさんお疲れ様でした。  
「野村」  
「お客様から注文書が来たら、私は「出来ませよ」と答えます。休み時間に注文のことを皆で話し合います。一人では無理でも全員で考えればアイデアを出し合える会社に向かっています。」  
正確な製品、良い製品、気持ちのこもった製品をお客様にお届けする。若者たちが安心して働けるフジイチになるよう微力ながら尽くす。これが今までお世話になった先輩方への恩返しだと思っています。



会社に入社し40年余り。月日が過ぎるのも早いと思うこの頃です。  
「製材で仕事している」と嫁の来てはない」と言われる事もありましたが、今では平均年齢が40歳をすぎ、若い方が大勢働いておられます。世の中景気が悪いから今は「しょうがない」。しょうがないけど「どうにかしよう」。「会社で働く全員が一つだから今がある。」  
お客様から注文書が来たら、私は「出来ませよ」と答えます。休み時間に注文のことを皆で話し合います。一人では無理でも全員で考えればアイデアを出し合える会社に向かっています。」  
正確な製品、良い製品、気持ちのこもった製品をお客様にお届けする。若者たちが安心して働けるフジイチになるよう微力ながら尽くす。これが今までお世話になった先輩方への恩返しだと思っています。

## フジイチ社員 大紹介！

弊社には12名の天竜林業高校卒業生がいます、今年も4月に2人の男子生徒が入社し元気に活躍しています。

その天竜林業高校がこの度、文部科学省が専門的な職業人育成を図る「目指せスペシャリスト(スーパー専門高校)事業」の2007年度指定校として選ばれました。指定校は全国で10校、県内では天竜林業高校のみで、同校では「生徒らの自信につながる」と喜んでいます。私は、その運営指導委員に選ばれ、この事業の進め方とか、事業のあり方を意見する船取り役を、恐れ多くも引き受けることになりました。

スーパー専門高校に認定された天竜林業高校のパンフレット

「目指せスペシャリスト」事業は、農工、商業などの専門高校で将来の地域社会の担い手となる職業人を育成する狙い。特色ある高校を3年間指定し、先端技術、技能の習得や伝統産業の継承といった学習活動を支援するものです。

指定校応募で天竜林業高校は「森林スペシャリストの育成と木質バイオマスなどの活用」を研究開発課題の挙げた。大学や地域の森林組合、NPOなどと連携して、持続可能な森林経営の実践、木材の循環的な利活用による森林環境教育の推進、森林インストラクターや森の手入れを補助する森林ボランティアの育成などを進めていく。

北川好伸校長は「学校のこれまでの取り組みが認められたものと喜んでい

## 今月のぴくちや

あれ！  
何か道路に？  
車を路肩に止める  
ジーシート  
見ると スカベンジャー  
ないですか  
(石野)

## 業界動向「先を読む」

大手集成材工場、大手プレカット、新生産システム大工場と木材業界も大手が増えてきた。これも時代の流れ。大きいものが小さいものを吸収し、さらに大きくなっていく…。

天竜林業地域といえは、昔は製材・材木屋があまたにあり、きこりもたくさんいた。天竜二俣の町は木材業者相手の飲み屋がたくさんあり、大繁盛だったそう。それが今は…。

こんな時代だからこそ、会社

山林部 野村(33)

どうしの垣根を越えて協力し合い、地域全体で盛り上がりていく。だからこそ天竜地域新生産システムではないかと思う。だから私は、この業界、まだまだいけると思っています。